

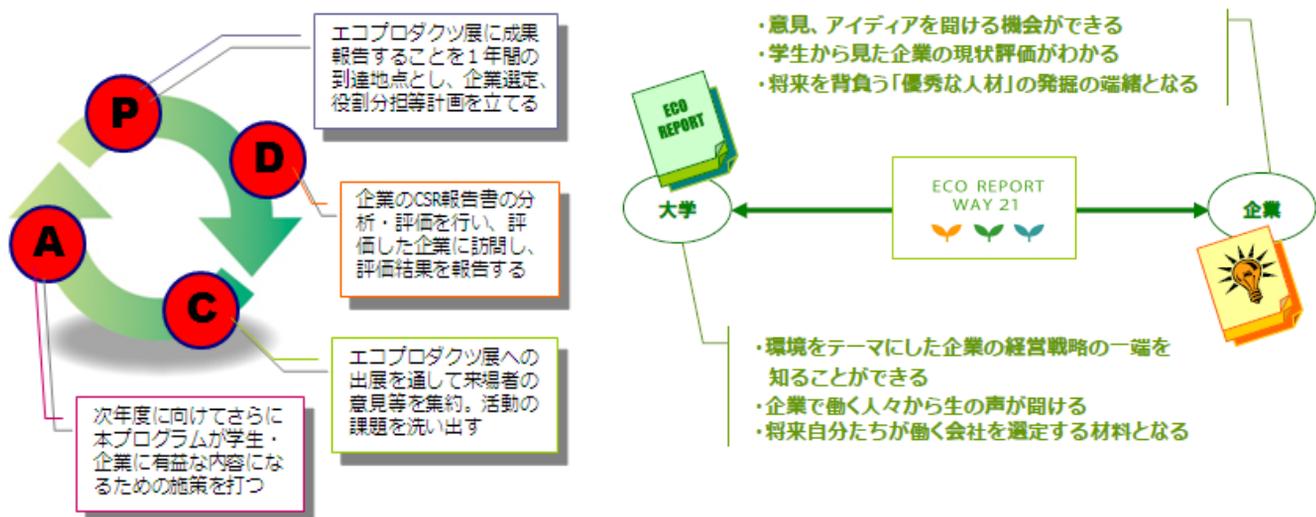


ご挨拶

武蔵野大学 環境学部 環境学科 教授 佐々木重邦

CSR・環境報告書を学生の視点で評価・分析し、企業へフィードバックする「ECO REPORT WAY 21」の活動を通じて学生が確実に成長していることを実感できます。これも評価・分析結果の報告、意見交換をさせていただいた延べ約30社の企業のご理解、ご協力があったことによるものです。感謝致します。本展示をご覧になり、この活動に関する忌憚のないご意見を頂ければと思います。

CSR・環境報告書を通して企業が未来の環境リーダーを育成する「教育プログラム」



2011年の主な活動

環境プロジェクトにて
定期的な報告会



評価・分析による意見交換
(企業訪問：計6社)



21の指標の見直し



学生から企業に提案された意見の例

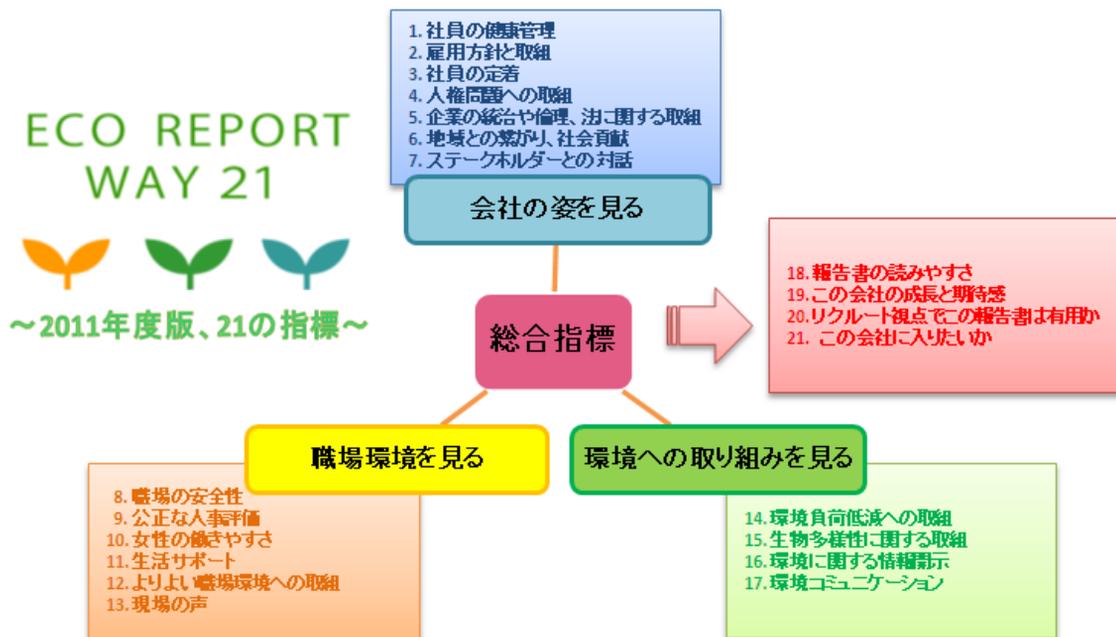
- ・専門用語を使わず一般にも分かりやすい言葉を使ってほしい
- ・表紙にもっと読みたくなるような工夫をしてほしい
- ・目標に対する達成度を○×などの記号でわかりやすくするとよい
- ・職場の雰囲気が伝わるような現場の声や写真を載せてほしい

企業から学生に提案された意見の例

- ・Webに掲載していることも評価に入れてほしい
- ・他社との評価結果の比較をしたい
- ・学生が評価する企業にどんなイメージを持っているか知りたい

21の指標改善

リクルート視点の21の指標をもとに評価する中で、指標をよりの確に評価できるものになるよう改善しました。



指標の改善

- **指標の移動**
 - ・指標1の「職場の安全性」を『職場環境を見る』グループへ移動。
 - ・指標17の「現場の声」を『職場環境を見る』グループへ移動。
- **指標の統一**
 - ・前年度指標9の「充実した教育研修」を指標4の「社員の定着」と統一。
 - ・前年度指標11の「障害者の雇用状況」を指標3の「雇用方針と取組」と統一。
- **指標の変更**
 - ・前年度指標15の「環境に関する規制の遵守状況」を環境に関して悪い情報が記載されているかだけを見る指標、「環境に関する情報開示」に変更。
- **指標・グループの導入**
 - ・『報告書を見る』グループを廃止し、新しく『環境への取り組みを見る』グループを導入。
 - ・「ステークホルダーとの対話」を導入。また、前年度指標14の「第三者による評価」をこちらの指標と統一。
 - ・「環境負荷低減への取組」を導入。
 - ・「生物多様性に関する取組」を導入。

今後の課題・目標

企業と長期的な関係を築く

- ・一度訪問して終わりではなく、来年度も評価、企業訪問をすることによって昨年度との比較をすることができる。

評価の際のWeb評価を検討する

- ・近年、報告書をWebに掲載している企業が増えているため、それをどう評価していくかを検討する

PDCAサイクルをしっかりとまわす

- ・訪問終了後、評価結果をそのままにせず、反省をしっかりと行う

* ご感想・ご質問等ございましたら、下記に記載されたアドレスに送付ください。
ERW21 2012年リーダー 2年 高木 健
E-mail s1035081@stu.musashino-u.ac.jp